

高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第50週（12月10日～12月16日）

★ お知らせ

○ 感染性胃腸炎に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の13.83から17.53に増加し引き続き注意報値を超えています。患者発生報告数が増加するのは冬季で、その大半はノロウイルス等のウイルス感染を原因とし、嘔吐・下痢・腹痛・発熱などの症状を引き起こします。ほとんどの方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡する事があります。脱水にならないように、できる限り水分の補給をすることが大切です。感染力は大変強く、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあります。症状が消失した後も、約1週間は便の中にウイルスが排出される可能性があります。感染を拡げないために、帰宅後の手洗い・うがいを励行し、食事前やトイレの後は必ず手を洗いましょう。また、ウイルスを含む汚染物の処理には次亜塩素酸ナトリウムを使用するか、85℃以上で1分以上の加熱が必要です。高知県ノロウイルス対策マニュアルを予防対策の参考にしてください。（URL <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>）

○ 水痘に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の2.97から3.03に増加し引き続き注意報値を超えています。臨床経過は一般的に軽症で、倦怠感、掻痒感、38度前後の発熱が2～3日間続く程度であることが大半ですが、成人ではより重症化しやすいです。感染力は強く、発疹出現の1～2日前から出現後4～5日、あるいは痂皮化するまで伝染力があるのでヒトとの接触をさけることが重要です。例年冬季に流行しているので引き続き手洗い、うがいの一般的な予防方法の励行に努めましょう。

○ インフルエンザ、流行の兆し！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の0.35から1.27に増加し、16日までの1週間で1医療機関当たり患者数が1人を超え、流行水準に達しました。医療機関による迅速キットの結果では、インフルエンザウイルスA型、B型の両方が検出されています。今後、更なる増加が考えられますので、外出後の手洗い・うがいの励行とともに、咳エチケットに心がけるようにしてください。

★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）



急増



増加



横ばい



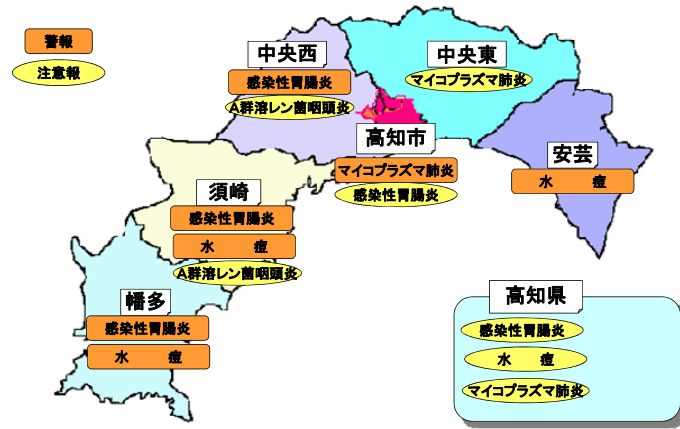
減少



急減

疾病名	推移	定点当たり報告数(人)	県内の傾向
感染性胃腸炎		17.53	幡多、須崎、中央西、高知市、安芸で増加し全体では注意報値を超している。幡多、中央西、須崎で警報値を、高知市で注意報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
水痘		3.03	須崎、幡多で増加し全体では注意報値を超している。須崎、幡多、安芸で警報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
マイコプラズマ肺炎		1.63	中央東で減少したが、高知市では警報値を、中央東で注意報値を超している。全体でも注意報値を超している。
RSウイルス感染症		1.30	中央西、須崎、幡多で増加している。流行のシーズンなので注意が必要。
インフルエンザ		1.27	安芸、高知市、中央東で増加した。流行のシーズンなので注意が必要。

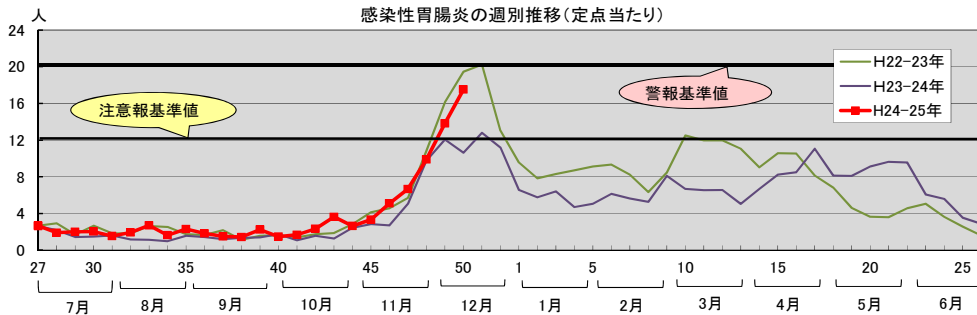
★ 地域別感染症発生状況



★ 気を付けて!

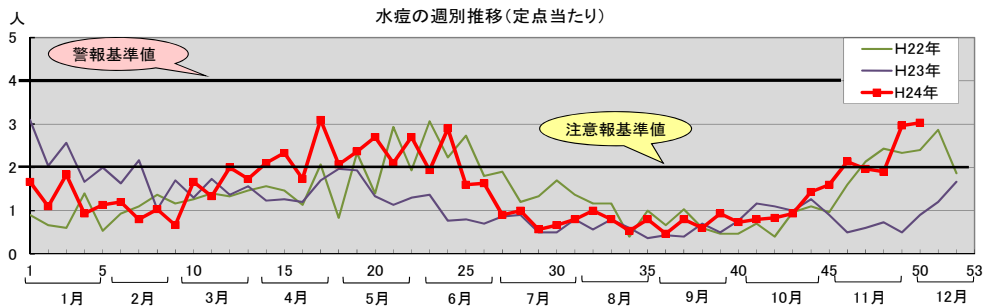
○ 感染性胃腸炎：17.53（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり17.53（前週：13.83）と6週連続増加し引き続き注意報値を超えています。幡多（27.20）中央西（24.67）須崎（24.50）高知市（16.82）安芸（8.50）で増加しています。幡多、中央西、須崎では警報値を、高知市では注意報値を超えています。特に県西部での報告が増加しているので注意してください。病原体定点からはNorovirus G II NTが6例検出されています。予防方法の基本は、手洗いです。特に、排便後、調理や食事の前には入念に手洗いをしましょう。



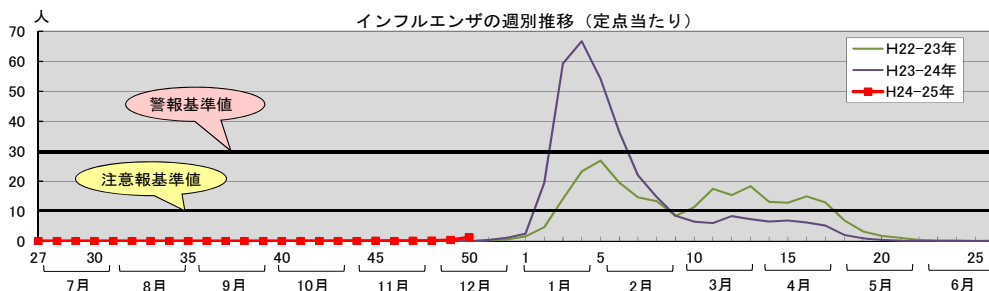
○ 水痘：3.03（注意報値：2.00 警報値：4.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり3.03（前週：2.97）と増加し引き続き注意報値を超えています。須崎（9.50）では約6倍に、幡多（6.20）では約2倍に増加し、須崎、幡多、安芸（6.00）で警報値を超えています。例年冬季に流行しているのこれから注意してください。予防方法は、感染源のヒトとの接触をさけることが重要です。また、飛まつ感染や接触感染を起こすため、うがいと手洗いを行ってください。



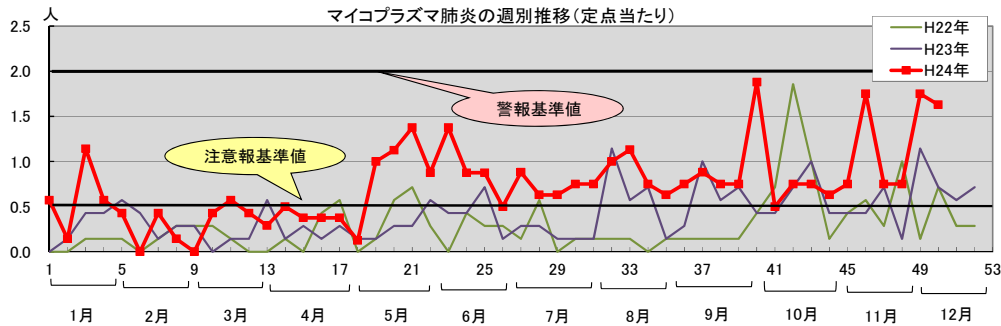
○ インフルエンザ：1.27（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり1.27（前週：0.35）と4週連続増加しています。学校欠席者情報収集システムでも約3倍の増加がみられ、特にインフルエンザウイルスB型の報告が増加しています。例年1月から患者数が急増しているので今後注意してください。予防方法は手洗い、うがい、咳エチケットです。



○ マイコプラズマ肺炎：1.63（注意報値：0.50 警報値：2.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり1.63（前週：1.75）と減少していますが、全体では注意報値を超えています。高知市（2.40）では警報値を、中央東（1.00）では注意報値を超えています。病原体定点からは肺炎マイコプラズマ（*Mycoplasma pneumoniae*）が7例検出されています。濃厚な接触により感染が成立し、家庭内などでの感染がよくみられます。感染を広げないためのポイントは、患者との濃厚な接触を避けるように気を付ける事、咳エチケット、手洗いです。



★ 病原体検出情報

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
50	感染性胃腸炎	1	男	高知市	Norovirus GII NT
50	感染性胃腸炎	2	男	須崎	Norovirus GII NT
50	感染性胃腸炎	3	女	須崎	Norovirus GII NT
50	感染性胃腸炎	1	男	須崎	Norovirus GII NT
50	感染性胃腸炎	3	女	須崎	Norovirus GII NT
50	感染性胃腸炎	2	男	須崎	Norovirus GII NT
50	感染性胃腸炎	1	男	高知市	Sapovirus genogroup unknown
50	マイコプラズマ肺炎	6	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
50	マイコプラズマ肺炎	4	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
50	マイコプラズマ	9	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
50	マイコプラズマ肺炎	5	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
50	マイコプラズマ	3	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
50	マイコプラズマ肺炎	12	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
50	マイコプラズマ	10	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
45	インフルエンザ	12	女	高知市	Influenza virus B/Victoria*
45	インフルエンザ	9	女	高知市	Influenza virus B/Victoria*
46	急性肝炎	9	女	高知市	Human herpes virus 7
46	出血性膀胱炎	8	男	中央東	Human herpes virus 7
47	不明発疹症	1	女	須崎	Human herpes virus 6
47	不明発疹症	12	男	須崎	Human herpes virus 7
47	耳下腺炎	5	女	幡多	Human herpes virus 7
47	インフルエンザ	4	男	高知市	Influenza virus B/Victoria*
47	急性気管支炎	2	男	高知市	Respiratory syncytial virus
47	不明発疹症	1	女	須崎	Rhinovirus
48	急性気管支炎	8	女	高知市	Rhinovirus
49	原因不明アナフィラキシーショック	12	男	中央西	Human herpes virus 7
49	下気道炎	12	男	中央東	Respiratory syncytial virus
49	急性上気道炎	10ヶ月	女	須崎	Respiratory syncytial virus

「保健所」について、患者の居住地を管轄する保健所名を記載する。

*45週、47週のインフルエンザについては受付週にPCR検査でB型を検出し、その後分離培養していずれもInfluenza virus B/Victoriaが分離されました。

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
5類	後天性免疫不全症候群	1	4	40歳代（男）	高知市

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	あけぼの小児クリニック	マイコプラズマ感染症 1 例 (19 歳)
	早明浦病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例 (15 歳女)
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス扁桃炎 2 例 (1 歳男、7 歳女)
	細木病院小児科	ノロウイルス (+) 3 例 (1 歳男 2 名、1 歳女)
	国立高知病院小児科	アデノウイルス感染症 1 例 (2 歳男)
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎 2 例 (1 歳男：津野町、6 歳女：土佐市)
須崎	もりはた小児科	アデノウイルス扁桃炎 2 例 (2 歳女、4 歳男) 感染性胃腸炎：大きな流行となっている。 水痘：2 保育園中心に流行中。
幡多	幡多けんみん病院小児科	ノロ確定 2 例 (1、12 歳女)
	さたけ小児科	ヘルペス歯肉口内炎 1 例 (2 歳男)

★ 全国情報

第48週 (11/26～12/2)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核329例

3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症46例

4類感染症：E型肝炎2例、A型肝炎1例、エキノコックス症1例、つつが虫病24例、デング熱6例、マラリア1例、レジオネラ症22例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢18例、ウイルス性肝炎1例、急性脳炎3例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群17例、ジアルジア症1例、梅毒9例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん34例、麻しん4例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、デング熱2例、日本紅斑熱2例、急性脳炎2例

◆ 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は多種多様な原因によるものを包含する症候群名である。全国約3,000カ所の小児科定点からの患者発生報告数が増加するのは冬季であり、その大半はノロウイルスやロタウイルス等のウイルス感染を原因とするものと推測される。また、患者発生のピークは例年12月中となることが多く、同時期の感染性胃腸炎の、特に集団発生の原因の多くはノロウイルスによるものであると考えられている。

ノロウイルスの感染経路としては、以前は食中毒としての経口感染がよく知られていたが、感染後の発症者や無症状病原体保有者との直接もしくは間接的接触による接触感染や、患者の嘔吐物や下痢便を介した飛沫感染等のヒト-ヒト感染があり、その感染力は非常に強い。乳幼児の集団生活施設である保育所や幼稚園、小児の集団生活施設である小学校等においては、これら接触感染や飛沫感染等により、集団発生が繰り返されてきているものと推察される。また、2006年12月の東京都豊島区のホテルにおいて発生した集団感染事例のように、「吐物や下痢便の処理が適切に行われなかったために残存したウイルスを含む小粒子が、掃除などの物理的刺激によって舞い上がり、それを間近とは限らない場所で吸引し、経食道的に嚥下して消化管へ至る感染経路」である「塵埃感染」が発生する場合がある。ノロウイルスの感染予防には、流水・石けんによる手洗いの励行と吐物や下痢便の適切な処理がきわめて重要である。

感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎は全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づいている。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2012年第42週以降増加が続いており、第48週の定点当たり報告数は18.00 (報告数56,677) となった。2002年以降の過去10年の同時期と比較した場合、2006年 (定点当たり報告数21.86) に次ぐ高い値である。都道府県別では鹿児島県 (37.42)、宮崎県 (34.72)、福井県 (33.59)、大分県 (28.67)、富山県 (28.03)、愛媛県 (26.00)、熊本県 (24.94) の順となっており、大阪府を除く46都道府県で前週の報告数を上回った。2012年第36～48週の定点当たり累積報告数は83.59 (累積報告数263,344) であり、年齢群別割合では0～1歳24.9%、2～3歳21.0%、4～5歳17.3%、6～7歳10.1%の順となっている。

2012年の感染性胃腸炎の報告数は2002年以降では2006年に次ぐ高い水準を保ったまま本格的な流行となっている。前週でも紹介したように全国各地で検出されたノロウイルスのアミノ酸配列相同性解析により、従来日本国内で検出されていた遺伝子型GII/4とは異なった抗原性を有すると推測される新たなGII/4変異株が2012年の10月以降、全国各地で検出されているとの報告もあり、今後の感染性胃腸炎の発生動向には注意深い観察が必要である。

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第50週 平成24年12月10日(月)～平成24年12月16日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第50週					計	前週	全国(49週)	高知県(50週末累計)		全国(49週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H24/1/2～H24/12/16	H24/1/2～H24/12/9	
インフルエンザ	インフルエンザ		14	2	45			61 (1.27)	17 (0.35)	2,832 (0.57)	16,505 (343.85)	1,643,128 (334.44)		
小児科	咽頭結核熱						2	2 (0.07)	3 (0.10)	1,330 (0.42)	164 (5.47)	49,164 (15.65)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	1	15	9	6	2	34 (1.13)	6,485 (2.06)	1,955 (65.17)	259,091 (82.46)		
	感染性胃腸炎		17	65	185	74	49	136	526 (17.53)	61,897 (19.62)	8,490 (283.00)	1,080,833 (344.00)		
	水痘		12	4	21	4	19	31	91 (3.03)	5,629 (1.78)	2,395 (79.83)	175,927 (55.99)		
	手足口病								()	1 (0.03)	1,368 (0.43)	121 (4.03)	69,352 (22.07)	
	伝染性紅斑				3	2			5 (0.17)	4 (0.13)	152 (0.05)	861 (28.70)	20,468 (6.51)	
	突発性発疹			1	5	1		1	8 (0.27)	12 (0.40)	1,556 (0.49)	670 (22.33)	87,874 (27.97)	
	百日咳				1				1 (0.03)	()	60 (0.02)	329 (10.97)	3,944 (1.26)	
	ヘルパンギーナ								()	1 (0.03)	139 (0.04)	831 (27.70)	114,131 (36.32)	
	流行性耳下腺炎				2			3	5 (0.17)	5 (0.17)	1,092 (0.35)	688 (22.93)	68,451 (21.79)	
RSウイルス感染症			2	24	6	5	2	39 (1.30)	46 (1.53)	4,020 (1.27)	995 (33.17)	85,904 (27.34)		
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	10 (0.01)	1 (0.33)	454 (0.67)		
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	1 (0.33)	440 (0.64)	46 (15.33)	18,470 (27.12)		
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	8 (0.02)	9 (1.29)	446 (0.96)		
	無菌性髄膜炎							()	()	10 (0.02)	24 (3.43)	878 (1.88)		
	マイコプラズマ肺炎		1	12				13 (1.63)	14 (1.75)	498 (1.06)	241 (34.43)	21,951 (47.00)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1				1 (0.13)	()	26 (0.06)	14 (2.00)	835 (1.79)		
計(小児科定点当たり人数)		44 (18.50)	76 (10.61)	315 (26.07)	96 (32.00)	79 (39.50)	177 (35.40)	787 (24.97)		87,552 (927.15)	34,339 (927.15)	3,701,301		
前週(小児科定点当たり人数)		29 (14.50)	95 (13.29)	275 (23.87)	85 (27.94)	45 (22.50)	105 (21.00)		639 (20.57)					

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第50週					計	前週	全国(49週)	高知県(50週末累計)		全国(49週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H24/1/2～H24/12/16	H24/1/2～H24/12/9	
インフルエンザ	インフルエンザ		3.50	0.18	2.81			1.27	0.35	0.57	343.85	334.44		
小児科	咽頭結核熱						0.40	0.07	0.10	0.42	5.47	15.65		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.50	0.14	1.36	3.00	3.00	0.40	1.13	1.03	2.06	65.17	82.46	
	感染性胃腸炎		8.50	9.29	16.82	24.67	24.50	27.20	17.53	13.83	19.62	283.00	344.00	
	水痘		6.00	0.57	1.91	1.33	9.50	6.20	3.03	2.97	1.78	79.83	55.99	
	手足口病									0.03	0.43	4.03	22.07	
	伝染性紅斑				0.27	0.67			0.17	0.13	0.05	28.70	6.51	
	突発性発疹			0.14	0.45	0.33		0.20	0.27	0.40	0.49	22.33	27.97	
	百日咳				0.09				0.03		0.02	10.97	1.26	
	ヘルパンギーナ									0.03	0.04	27.70	36.32	
	流行性耳下腺炎				0.18			0.60	0.17	0.17	0.35	22.93	21.79	
RSウイルス感染症			0.29	2.18	2.00	2.50	0.40	1.30	1.53	1.27	33.17	27.34		
眼科	急性出血性結膜炎									0.01	0.33	0.67		
	流行性角結膜炎			1.00				0.33	0.33	0.64	15.33	27.12		
基幹	細菌性髄膜炎									0.02	1.29	0.96		
	無菌性髄膜炎									0.02	3.43	1.88		
	マイコプラズマ肺炎		1.00	2.40				1.63	1.75	1.06	34.43	47.00		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.20				0.13		0.06	2.00	1.79		
計(小児科定点当たり人数)		18.50	10.61	26.07	32.00	39.50	35.40	24.97		927.15	927.15			
前週(小児科定点当たり人数)		14.50	13.29	23.87	27.94	22.50	21.00		20.57					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869